

下地の状態がセラールの施工に適しているか確認してください。

下地を新設する場合

施工可能な下地の例

- セっこうボード (推奨 12.5mm 以上)
- けい酸カルシウム板 (推奨 6mm以上・比重0.8以上)
- ラワン合板 (推奨 9mm 以上)
- モルタル面 (推奨 含水率 4.5%以下・密着強度 1.0N/mm² 以上・不陸は2mm 以下)

※上記の下地でも、化粧材の施工部分に塗装などの仕上げが施されると、接着不良による剥がれが発生する可能性がありますので、ご注意ください。

そのままでは施工できない下地の例

- RC壁への直貼り → モルタル仕上げ (下記 **B** 参照)
- ALC躯体への直貼り → GL工法 (下記 **D** 参照) 及び 鋼製壁作製 (下記 **A** 参照)
- 湿気を帯びた下地 → 充分乾燥させる

躯体への下地材固定方法

A 鋼製壁

スタッドは65形以上を使用してください。下地材(セっこうボード等)を専用ビスで200~300mmピッチで固定してください。

※枠廻り・出隅・入隅部分の下地材端部は専用ビスで確実に固定してください。

B RC壁 モルタル仕上げの場合

モルタルはRC壁に対して接着が良いものを選定し、不陸がないように仕上げてください。

※モルタルの含水率が4.5%以下になってから施工してください。(密着強度 1.0N/mm²以上)

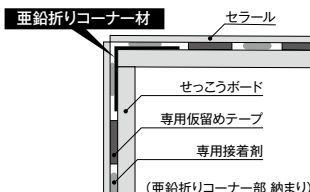
C RC壁 木胴縁の場合

24mm×45mm 程度の縦胴縁を300mm・横胴縁を450mmピッチで躯体にアンカー・カール・釘で固定し、下地材(セっこうボード等)を専用ビス(300mmピッチ)と接着剤を併用して固定してください。

D RC壁 GL工法の場合 ※ ※GL工法は吉野石膏株式会社による工法です。

セっこうボードメーカーの仕様を厳守してください。

※GLボンドは水性ですので、施工後は養生を充分取ってください。目安として約20日間は養生が必要です。特に、出隅においては、30mm×30mm×0.35mmの亜鉛折リコーナーで補強してください。



出隅は亜鉛折リコーナーで
確実固定を!

推奨「亜鉛折リコーナー」品番:01410

(株) 創建 ☎ 03-5992-6411

【施工方法】

1. 下地材に亜鉛折リコーナー材を速乾ボンドで完全に接着する。
2. 亜鉛折リコーナー材に接触しないよう専用仮留めテープを貼付ける。
3. 亜鉛折リコーナー材の上、及び専用仮留めテープの内周に専用接着剤(SE-I)を塗布する。

下地材の選定と構造の作製は、建築基準法や火災予防条例などの法令・法規に適合したものであるか、ご確認ください。

プライマー塗布の必要

プライマー塗布が必要な下地

- モルタル面
- けい酸カルシウム板
- ラワン合板

専用プライマー

JW-900N (溶剤系) もしくはRA-900 (水系) を全面に塗布してください。

安全対策

溶剤系プライマー等を使用する際は、カタログ本体の巻末の「安全にご使用いただくために」の次の項目を追加実施ください。
1 換気には十分注意する。 2 火気及び換気に十分注意する。
3 皮膚に触れないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスク又は送気マスク、保護手袋、保護メガネ、前掛け等を着用する。

加工工具の確認

加工工具

加工に関する道具は下記をお使いください。但し、ハマカケが起こらないように刃物は新しいものをお選びください。

■ 切断加工 防じん丸ノコ(チップソー・ダイヤモンドソー)

施工時における切断用刃物について
刃物の規格は「外径」「刃厚」「刃数」よりなっています。「外径」「刃厚」はお手元の丸ノコに合ったものを、「刃数」はできるだけ多いものをご使用ください。

セーラール		アイカメタル不燃	
外径	刃数	外径	刃数
100φ	60P	165φ	72P
125φ	80P	185φ	72P
165φ	72P		

加工工具は集塵機付きのものをご使用ください。

※アイカメタル不燃は左記の木工用のチップソーで切断可能ですが、刃の消耗は速くなりますので、ご了承ください。

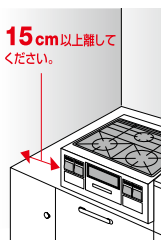
■ 穴あけ加工 ドリル(直径12φ以下の場合)、自在ざり(直径12φを超える場合)、ホルソー、ジグソー等

■ 仕上げ サンドペーパー、ヤスリ

コンロ廻りのご注意



キッチン部壁面の下地構造は法令に従い、施工してください。
また、セーラール表面への極度な熱伝導を防ぐため、次のことが守られていることを確認してください。



15cm以上離してください。

ビルトインタイプコンロの場合

- コンロの側面からセーラールの表面まで15cm以上離してください。15cm以上離せない場合、コンロの熱により変色やコゲが生じ美観を損なう事がありますのでステンレスパネル(ZK-8等)を使用してください。(変色やコゲが発生しても不燃性能には影響ありません。)

- グリルの排気口が背面側に設置しているタイプのクックトップについてはグリル排気で壁面が高温になり、変色やコゲが生じる場合があります。奥行き65cm未満のカウンターで使用する場合はステンレスパネルを使用してください。

- 奥行き65cm以上のカウンターで使用する場合もコンロやグリルダクトと壁面が近接する位置に設置するなど、壁面が高温になる懸念がある場合はステンレスパネル(ZK-8等)を使用してください。

据え置きタイプコンロの場合

- 据え置きタイプのコンロで壁面とコンロの距離が15cm以上離せない場合(側面、背面)はステンレスパネルを使用してください。

※以上の条件を満たしても直接炎がセーラールに当たらないようにご注意ください。

※コンロの周囲の壁面構造は各自治体の火災予防条例などにより規制されます。
規制に従った構造を作製してください。

※業務用のコンロや調理機器に近接する部位には使用しないでください。

※加熱された鍋類が直接セーラールに触れる事が無いようにしてください。

目地について

- コンロに近接する部位に目地を取らないでください。

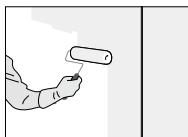


施工手順

- 1 プライマー処理
- 2 割付け
- 3 カット・加工
- 4 仮留めテープ貼り
- 5 接着剤塗布
- 6 貼付け
- 7 シーリング処理
- 8 保護フィルム剥がし

養生(2日間)

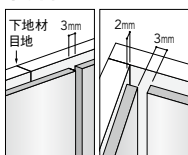
1 プライマー処理



- 下地材がモルタル面・ラワン合板・けい酸カルシウム板の場合、全面に予めプライマー〔JW-900N(溶剤系)もしくはRA-900(水系)〕を塗布してください。

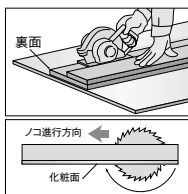
■ 標準塗布量: JW-900N 3×8サイズで3~4枚分/缶
RA-900 3×8サイズで9~11枚分/缶

2 割付け



- 下地材の目地と仕上げ材の目地が重ならないように、割付けてください。
- 突きつけ施工はできません。必ず、3mm以上の目地を取ってください。
- ジョイナーで施工する場合にも、必ずクリアランスを取ってください。

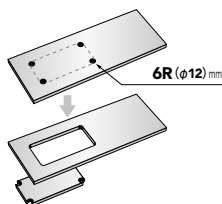
3 カット・加工



- 切断は当木を用いて、必ず刃物を表面から入れて裏面から出るようにしてください。
(表面には保護フィルムが貼ってあります)
- 穴あけ・切り欠きは必ず6R(φ12)以上の刃物を用いて、表面からコーナー部に穴をあけてから行ってください。

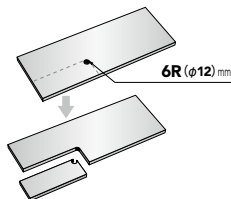
穴あけの手順

- 1 ドリルで四隅に穴をあける。
- 2 ノコでカットする。
- 3 カット面を面取りする。



切り欠きの手順

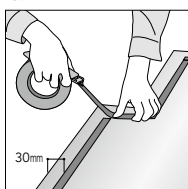
- 1 ドリルで角に穴をあける。
- 2 ノコでカットする。
- 3 カット面を面取りする。



ご注意

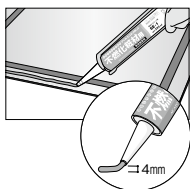


4 仮留めテープ貼り



- 仕上げ材の端部に接着剤を塗布するためのスペース30mmをあけて、仮留めテープを貼付けてください。

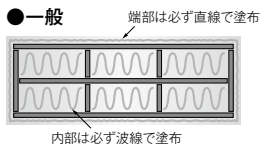
5 接着剤塗布



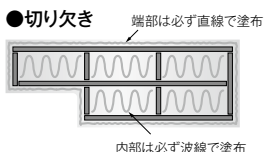
- 接着剤は高さ4mmで塗布してください。
- 仕上げ材外周には必ず接着剤を塗布してください。
(外周塗布がない場合や、塗布量が少ない場合には、端部の浮きが発生することがあります。)
- 仕上げ材3尺×8尺1枚に対して、アイカ エコエコボンド SE-1を1本が目安の塗布量です。塗布量が少ない場合、剥がれなどの原因となります。
- 接着剤塗布後10分以内に貼付け圧着してください。

【標準塗布パターン】

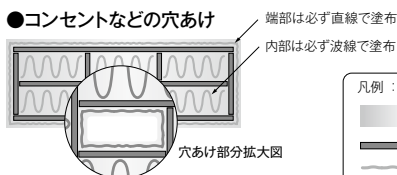
● 一般



● 切り欠き



● コンセントなどの穴あけ



凡例：

- セラールまたはアイカメタル不燃(裏面)
- 仮留めテープ
- 接着剤

6 貼付け

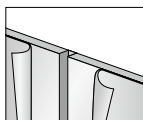


- 中央部に浮きが発生しないように注意して、仕上げ材を貼付けてください。
- 仮留めテープ部をしっかりと押さえてください。

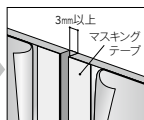
※接着剤部を押さえると泣き別れの恐れがあります。

※施工用吸盤を使用する場合、吸盤のゴム成分によっては製品表面に着色する場合がありますのでご注意ください。

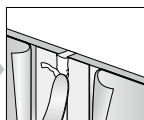
7 シーリング処理



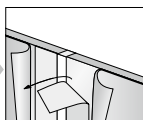
マスキングテープを貼り付ける部分のみ、表面の保護フィルムを剥がしておきます。



マスキングテープを貼り付け、奥までしっかりとシリコンを注入します。



ヘラなどを用いて、余分なシリコンをかき取ります。



マスキングテープをゆっくりと内側に剥がします。

8 保護フィルム剥がし

- 2日間以上養生後、表面の保護フィルムを剥がしてください。

【施工についてのご注意】

- カット面は目の細かいサンドペーパーを当木にそえて軽く糸面取りしてください。
- 目透かしシーリング納めの場合、カットしてない面も軽く糸面取りしてください。

完成